

## 岡山県立大学

保健福祉学部 看護学科 4年

神吉 佑奈さん

(岡山県立倉敷南高校卒)

人の役に立つ仕事に就きたいという思いと、看護師として働く母への憧れから、自宅から通える看護学科を志望。オープンキャンパスで訪れた岡山県立大学の落ち着いた学修環境や地域との関わりの深さに魅力を感じ、先輩から一人数で先生との距離が近く、実習時期が遅めなので学生生活がゆったり楽しめること聞いて入学を決めました。

1年次は一般教養や看護の基礎を身に付け、2年次から小児や母性、成人、老年、精神など領域別に理解を深めます。漠然としていた看護のイメージが具体的になったのが、3年次の必修科目「看護アセスメント学」。患者さんとのコミュニケーションだけでなく、検査データも含め統合的に情報を分析し、患者さんを取り巻く問題を明らかにする方法を学んだことで、必要なケアを多角的に判断できるようにになりました。病院実習では物事を客観的に受け止める大切さを痛感。食事制限中の患者さんを担当した際、患者さんの気持ちを重視し過ぎて隠れて飲食するのを的確に注意できず、看護師の在り方を

### 授業、実習通じ 最善ケア考える

年、精神など領域別に理解を深めます。漠然としていた看護のイメージが具体的になったのが、3年次の必修科目「看護アセスメント学」。患者さんとのコミュニケーションだけでなく、検査データも含め統合的に情報を分析し、患者さんを取り巻く問題を明らかにする方法を学んだことで、必要なケアを多角的に判断できるようにになりました。



## 在宅医療を支える看護師に



学内での点滴の演習に取り組む神吉さん

考えさせられました。コロナ禍で患者さんの反応を直接見て看護計画を立てることは困難でしたが、できることを工夫しながら頑張っています。自主性を尊重しつつ優しくフォローしてくれる学科の先生、同じ志を持つ仲間のおかげで大変な日々も乗り越えられます。卒業後は急性期病院でスキルを磨き、将来的には高齢化が進む地域で在宅看護に携わりたいです。患者さんの心に寄り添いながら、医療者の立場から最善のケアができる看護師を目指します。

〒719-1197 総社市窪木111

代表☎(0866)94-2111